

トキエア Monthly Report vol.2

2021年2月3日

今月のレポートをお届けします。

➤ 業界動向

＜国内旅客の回復は、2022年夏、とデロイトが予測：トキエア就航も2022年夏＞

11月に戻りかけた国内旅客数ですが、コロナ陽性者数の拡大と、年末年始のGo to トラベルキャンペーンが、一時ストップしたため、12月半ば以降、また冷え込めました。12月21日の日経朝刊には、「デロイトトーマツグループが20年9月にまとめた予測では、21年7月時点での国内旅行者数は最大でもコロナ前の75%にとどまり、以前の水準を回復するのは**22年7月**…」との記事が掲載され、弊社、就航想定時期2022夏には国内旅行者がコロナ前に戻るとの予想です。一方、国内航空貨物需要は、既にコロナ前以上の水準に戻っています（運輸局）。

＜増資を進める国内各社＞

こうした状況を踏まえ、国内各航空会社は資金調達を進めています。JALは11月6日に、公募増資などで最大1679億円の調達を発表。またANAも同じく最大3221億円の調達を打出しています。12月25日にはANA系列のスターフライヤーが、財務基盤強化のため、今年度中に第三者割当増資（新たに株式を発行して出資を受け入れ）の形で110億円の資本増強を行う方針。春秋航空日本でも独自に国内各株主よりの増資を進めております。また2021年度以降の非接触型「スマートエアポート」に代表される新時代サービスの実現に向けた増資に取り組んでいます。

➤ 12月の主な活動

＜「トキエア」の宣伝活動と出資に向けた取組み＞

11月後半から12月を通して「トキエア」を広く知って頂くため、新潟県内での宣伝活動に努めました。

- 11/24 国際外語・観光・エアライン専門学校
- 11/27 長岡商工会議所（長岡グランドホテル）
- 12/03 新潟県中小企業家同友会佐渡支部/佐渡工業会/佐渡雇用労務問題研究会（ホテル浦島）
- 12/17 中原八一新潟市長表敬訪問
- 12/18 新潟県建設業協会佐渡支部（ホテル志い屋）
- 12/19 渡辺竜五佐渡市長表敬訪問



これらの宣伝活動を通じて、また、これまでのネットワーキングでご紹介頂いた企業を中心に2021年3月の増資に向け、新たな株主となって頂く企業に対し、アプローチさせて頂いています。

➤ 1月以降の活動について

＜増資・融資＞

12月に続き、2021年1月についても、3月に於ける増資及び融資（合計で11億円強）に向けて活動して参ります。

＜リース会社とリース機選定＞

トキエアにとって、財務上最もインパクトある項目の1つが、機材費（リース料）になります。（就航後は、燃油費、業務委託費、人件費、整備費などが主な費用項目となります）リース会社により、リース料が異なるので、ATR社から紹介された2社とトキエア担当（外国人）のネットワークで+3社、最終的に計5社と調整を開始し、現在2社が残っています。またリース料の他にリース会社は、セキュリティデポジットを要求してきます。この仕組みは、賃貸物件を借りる際の「敷金」の考え方に似ています。また、使用機材について新造機をリースするか、中古機を使うのかについても、慎重な判断が求められます。中古機の場合、リース料は低く、契約期間も

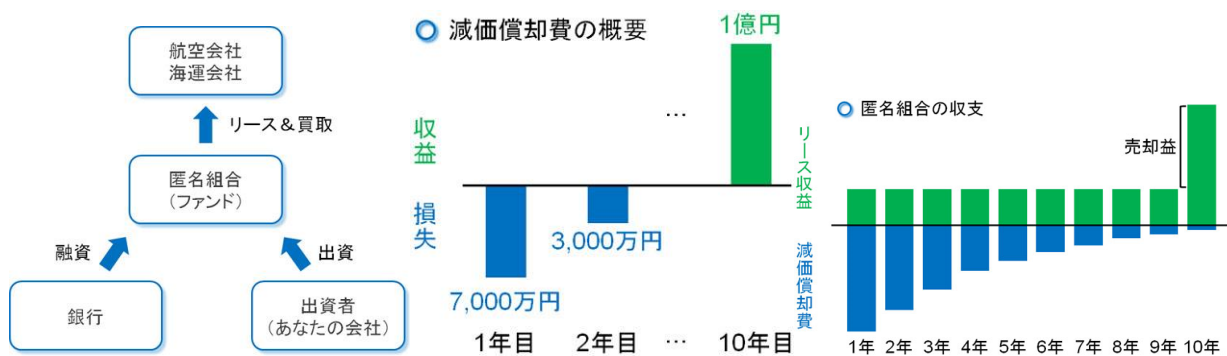
トキエア Monthly Report vol.2

2021年2月3日

短期なので、次の新型機材に移りやすいのがメリットですが、新造機に比べ、修理になるケースが多く、運航出来ない場合や、部品交換で整備コストがかさみ、結果的に「高くつく」こともあるので、トキエアの整備チームとリース会社の選定担当、そして航空局との交渉担当、財務担当は、「密な連携」を取りながら進めています。1月中には方針を出す予定です。

<航空機材の調達について///SLBの検討>

この3月を目途に調達予定の資金は、主にATR72の機材導入に充当されます。現段階では機材リースを主に計画中ですが、リース契約締結前に、セキュリティ・デポジットを預託する必要があり、トキエアの資金力により、その預託額が増減します。また別の仕組みとしては、機材を一旦、トキエアで購入し、トキエアをご支援下さる会社を中心となり、匿名組合を組成の下、リースバックするSLB (Sale & Lease Back) も並行して検討中です。この仕組みのメリットは、匿名組合に参加頂いた会社にとって、オペレーティングリースによる節税とキャッシュフローの改善（良化）、更に安定した収支に繋がるところです。



* (本文中の図は、いずれも Web の「節税ラボ」から引用)

<新潟事務所>

新潟本社事務所開設予定です。もし良い物件がございましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

<採用>

既に2020年12月29日付の新潟日報 朝刊記事をご覧頂いた方も少なくないかと存じますが、現在トキエアでは、航空整備士並びに整備間接部門の管理職、スタッフを募集しております。募集人数は、いずれも若干名ですが、少数精鋭の組織を目指し、1月後半から面接を実施予定です。(4月以降に入社予定となります)

以上